## EN 907490396m

19日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭60-85144

@Int\_CI\_1

識別記号

長

庁内整理番号

母公開 昭和60年(1985)5月14日

E 04 C 1/38 E 04 B 2/56

6730-2E 7014-2E

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

❷発明の名称 壁パネル

②特 願 昭58-192237

美

**愛出** 願 昭58(1983)10月13日

砂発明者 山田

豊中市新千里西町1丁目1番12号 ナショナル住宅産業株

式会社内

⑪出 願 人 ナショナル住宅産業株

豊中市新千里西町1丁目1番12号

式会社

②代 理 人 弁理士 宮井 暎夫

明 組 告

1. 発明の名称

燃パネル

## . 2. 特許謝求の範囲

内向き消形の面材嵌合部が側面全周に設けられたパネル枠と、前記面材嵌合部に周縁が嵌合した 構造用面材とを備えた壁パネル。

3. 発明の詳細な説明

〔技術分野〕

との発明は耐力壁となる壁パネルに関するものである。

〔背景技術〕

従来、耐力壁パネルとして、倒製のパネル枠に 木製の構造用面材を張ったものが生産されている。 しかし、面材とパネル枠との接合部が弱く、この 部分の耐力で耐力壁の面内せん断耐力が決定され てしまう。その結果、パネル枠または面材の最大 耐力に選しないうちに破壊し、材料の利用効率が 低いという間題があった。

( 発明 〇目的 )

との発明は、材料の利用効率を上げ、而内せん 断耐力を向上させることのできる態パネルを提供 することを目的とする。

〔発明の朋示〕

特開昭60-85144(2)

別体の面材接合服用補助枠 6 が付設されている。 上枠 3 は下向き構形に形成され、その側面に面材 嵌合部となる上枠用補助枠 7 が付設されている。 下枠 4 は雌部経枠 2 と同様に本体部分 4 ª と面材 低合部 4 b とからなる。

面材 8 は木製の構得用面材であり、周線が各面材胀合部 2 b ・ 4 b ・ 5 b 、上枠用補助枠 7 、 および面材接合部用補助枠 6 に嵌合され、これらの上からタッピンねじ 2 0 で各枠 2 ~ 5 に固定される。

組立順序を説明する。まず、面材接合部用補助枠6を面材接合部用機枠5にポルト等により取付ける。この後、図の左右の面材8を、上方は面材粉合配2 b・4 b・5 b および面材を取付の物枠6 に差込む。ついて上枠用補助枠7を取付る。この後、各部のタッピンねじ2 f を止める。

このように構成したため、鋼製のパネル枠1と木製の面材8との接合部耐力が向上する。すなわち、面材8をねじ止めするものと異なり、ねじ孔が荷重の集中により破壊して面材験部まで抜けて

しまうというようなことがなく、 面材 8 の全周が面材 10 合部 2 b , 4 b , 5 b かよび 4 補助 作 6 , 7 で支えられ、破機することが防がれる。それの 6 かん 面材 8 の 耐力が有効に利用され、パネルの 6 かん 断耐力が向上する。また、面材 10 の 10 かん がけられる。なり、 4 b , 5 b かよび 補助 作 6 , 7 が 設け られる と 6 により、 枠 材 断 値 が 大 き く な り、 これに 2 0 の 打 ひみすぎも 防ぐことができる。

その他の構成は第1の実施例と同様である。

接合手順を説明する。まず、面材接合部補助枠6を面材接合部用縦枠5′に取付ける。ついで、左右の面材8を正面より嵌め込む。この後、各押え板11・13・15・17を面材8に当ててタッピンねじ20により止める。

このように構成した場合も、第1の実施例と同様に面内なん断耐力が向上し、かつ鉛度耐力も向上する。

なか、前配各実施例は片面のみに構造用面材 8 を取付けるようにしたが、パネル枠 1 を表裏とも「同じような構造にして、両面に構造用面材 8 を取付けてもよい。

〔発明の効果〕

この発明の壁パネルは、面材の利用効率が良く、 面内せん断耐力が向上するという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

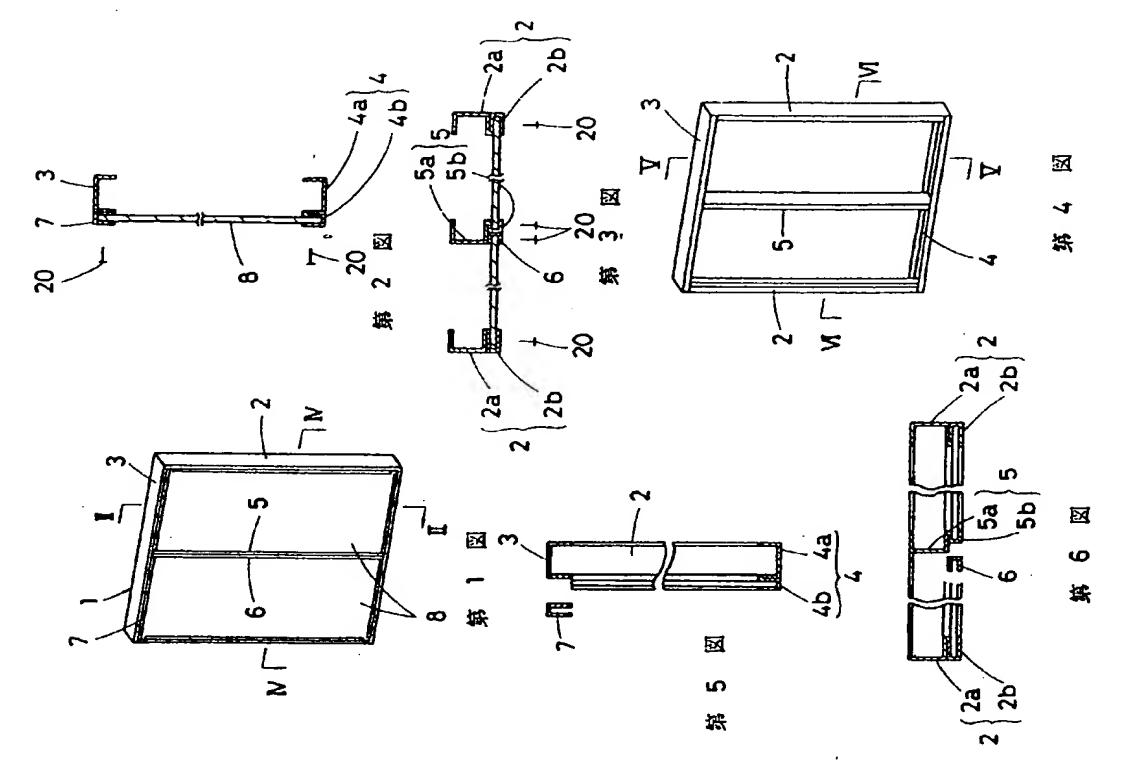
第1回はこの考案の一実施例の斜視図、第2回は第1回の1-1線断面図、第3回は第1回の1-1線断面図、第3回は第1回の1-1線断面図、第4回はそのバネル枠の斜視図、

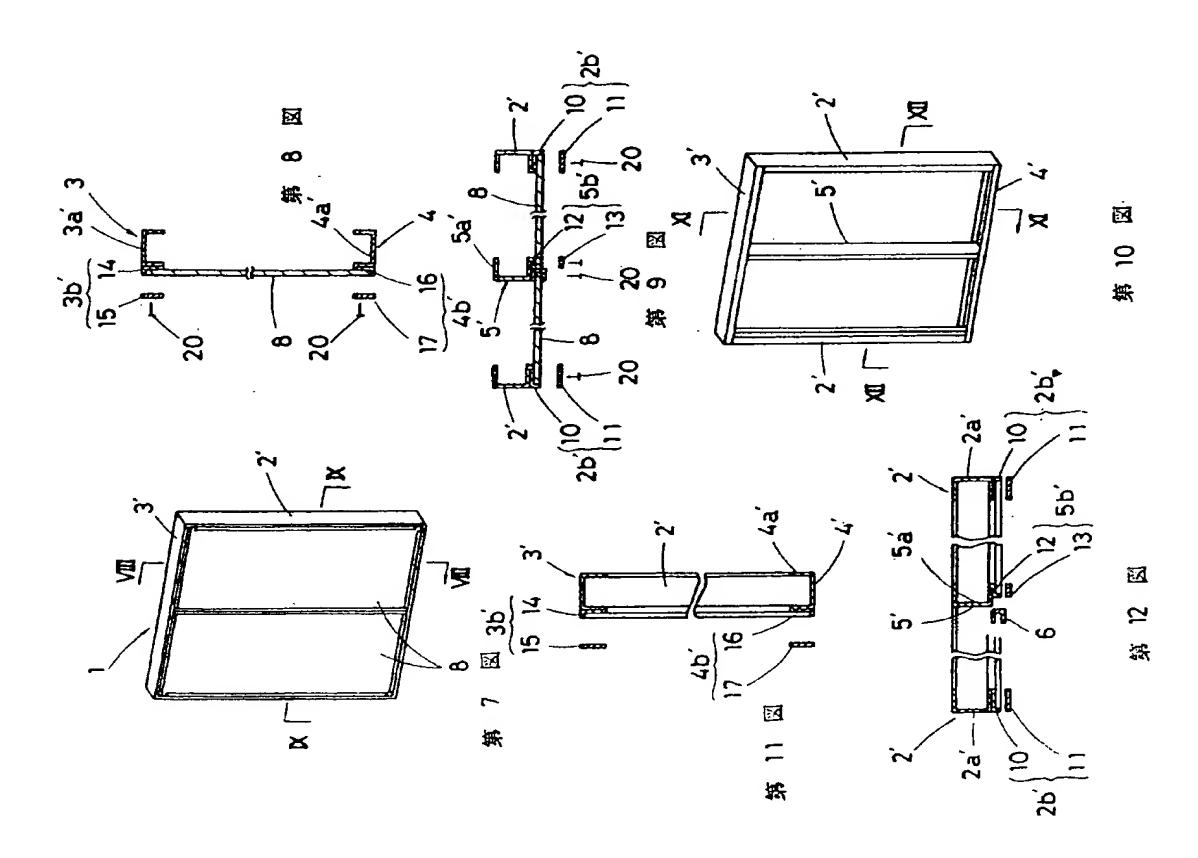
第5 図は第4 図のVーV線断面図、第6 図は第4 図のNーY線断面図、第7 図は他の実施例の斜視 図、第8 図は第7 図の畑ー畑線断面図、第9 図は 第7 図の以一旦線断面図、第10 図はそのパネル 枠の斜視図、第11 図は第10 図の刈一 互線断面 図、第12 図は第10 図の畑ー畑線断面図である。

1 … バネル枠、2 、2′ … 端部縦枠、2 b 、2 b′ … 面材嵌合部、3 、3′ … 上枠、4 、4′ … 下枠、4b、4 b′ … 面材嵌合部、5 … 面材接合部用総枠、5 b.5 b′ … 而材嵌合部、6 … 面材接合部用補助枠、7 … 上枠用補助枠

代 理 人 弗朗士 宮 井 唉







JP-A-S60-85144

Japanese Patent Unexamined Publication No. S60-85144

Date of Publication: May 14, 1985

Application No. S58-192237

Date of Application: October 13, 1983

Inventors: Osami Yamada

Applicant: National Housing Industrial Co., Ltd.

Title of the Invention: WALL PANEL

Claims:

1. A wall panel comprising a panel frame provided with a surface member fitting portion having an inward groove shape at a whole periphery of side surfaces thereof, and a structural surface member in which a peripheral edge into said surface member fitting portion.

Brief Description of the Drawings:

Fig. 1 is a perspective view of one embodiment of the present invention, Fig. 2 is a sectional view taken along line III-III of Fig. 1, Fig. 3 is a sectional view taken along line III-III of Fig. 1, Fig. 4 is a perspective view of a panel frame thereof, Fig. 5 is a sectional view taken along a line V-V of Fig. 4, Fig. 6 is a sectional view taken along line VI-Vi of Fig. 4, Fig. 7 is a perspective view of another embodiment of the present invention, Fig. 8 is a sectional view taken along line VIII-VIII of Fig. 7, Fig. 9 is a sectional view taken along line IX-IX of Fig. 7, Fig. 10 is a perspective view of a panel frame thereof, Fig. 11 is a sectional view taken along XI-XI of Fig. 10, and Fig. 12 is a sectional view taken along line XII-XII of Fig. 10.

1 ... a panel frame, 2, 2' ... an end longitudinal frame, 2b, 2b' ... a surface member fitting portion, 3, 3' ... an upper frame, 4, 4' ... a lower frame, 4b, 4b' ... a surface member fitting portion, 5 ... a longitudinal frame for a surface member fitting portion, 5b, 5b' ... a surface member fitting portion, 6 ... an auxiliary frame for a surface member fitting portion, 7 ... an auxiliary frame for an upper frame.

## Note:

If further translation is needed, please let us know.